

交流学习を通して生徒が変容する姿の見取り方

1 交流学习前後の学級全体の変容

図1は、協力校においての高齢者（社会福祉施設等）との交流を通して、生徒が変容の姿を「C&S質問紙」を利用して、プロット（点）で分布したものである。また、ここでは生徒一人一人の変容を見取るのではなく、学級全体の変容の見取りを表している。

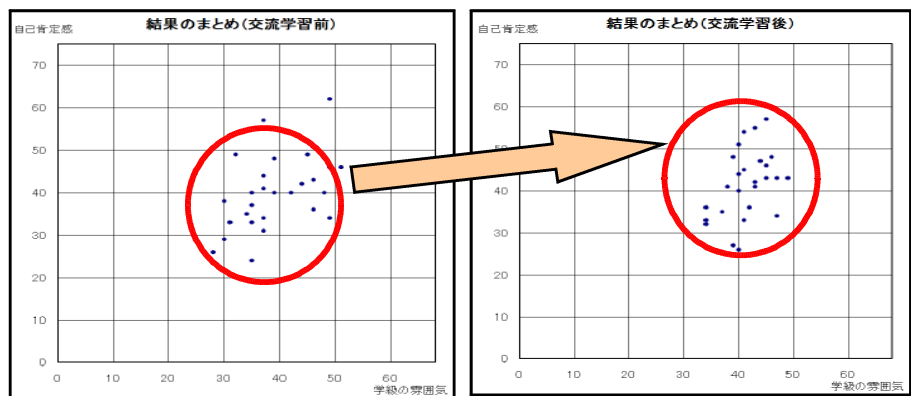


図1 交流学习前後の学級全体の変容

交流学习前から自己肯定感が高かった生徒数名の数値が低くなったが、交流学习前に自己肯定感が低かった生徒のほとんどが高くなっている。具体的には26人中18人の生徒が交流学习前よりも交流学习後の方が自己肯定感が高まっている。このことから学級全体としては交流学习前よりも交流学习後の方が多少ではあるが、自己肯定感が高まっていると考える。またプロット（点）の分布による学級の傾向としては、交流学习前は学級の雰囲気の認知に大きな差があるため、学級としてのまとまりに欠ける傾向にあったが、交流学习後は自己肯定感の高低には差が生じているが、学級としてはまとまってきたと考える。

図2は交流学习を終えてのアンケート結果を示したものである。C&S質問紙では自己肯定感の変容を見取ったが、このアンケートには、実施した調査で、交流学习から生徒が学んで欲しいことやどのように変容して欲しいのかという設問に対する回答として得られた内容が項目の中に含まれている。このことから、このアンケート結果によって、生徒にとって交流学习がどのような学習であったかを見取ることには有効であると考えられる。

学級全体としては、すべての項目に対して、よい結果が表れている。事前のアンケートの中で「高齢者との交流学习を楽しみにしていますか」という設問では、「とても思う」と「だいたい思う」と回答した生徒が20人、「あまり思わない」と回答した生徒が8人だった。交流学习前には、約30%の生徒が交流学习に対して消極的であったが、交流学习後では、「交流学习は楽しかった」、「充実感・達成感があった」という生徒が多かった。このことから人間関係に広がりをもたせるとともに、ふだんの学校生活では学ぶことができない様々なことを学ぶことができた今回の高齢者（社会福祉施設等）との交流学习は成果があったと考える。課題としては、他の項目に比べて「今回訪問したような施設について、もっと知りたいと思った」と「自分の身のまわりの地域が気になるようになった」の項目において「あまり思わない」が多かったことである。このことは交流学习がその場限りで終了してしまっていて、今後の生活に生かそうとしたり、視野を広げようとしたりする意識が低い生徒もいるためであると考えられる。このような結果を基にして、事前・事後学習を含めた交流学习を計画しなければならないと考える。

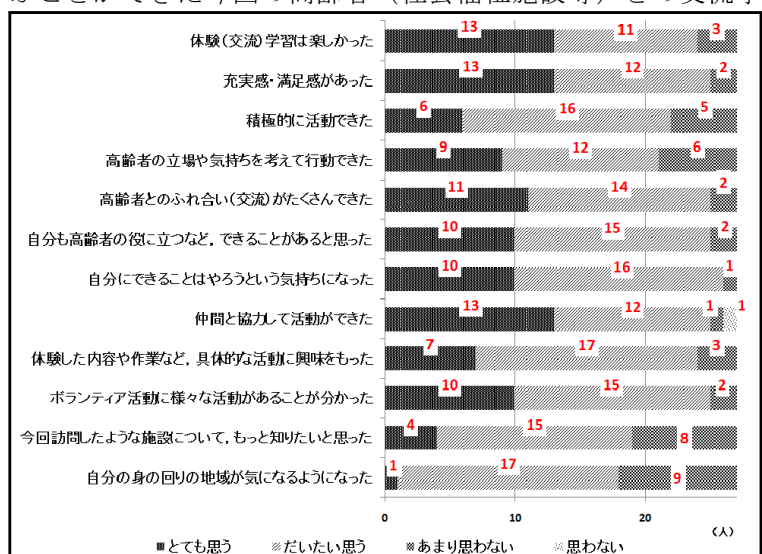


図2 交流学习を終えてのアンケート結果

2 交流学习を通しての個の変容

図3は前頁の交流学习を通じた学級全体の変容(図1)の中から、交流学习前後で自己肯定感が高くなった生徒と低くなった生徒をそれぞれ抽出したものである。ここで重要なことは、質問紙での変容結果、事前・事後のアンケート結果や感想、さらには日常生活の観察を併せて分析することである。

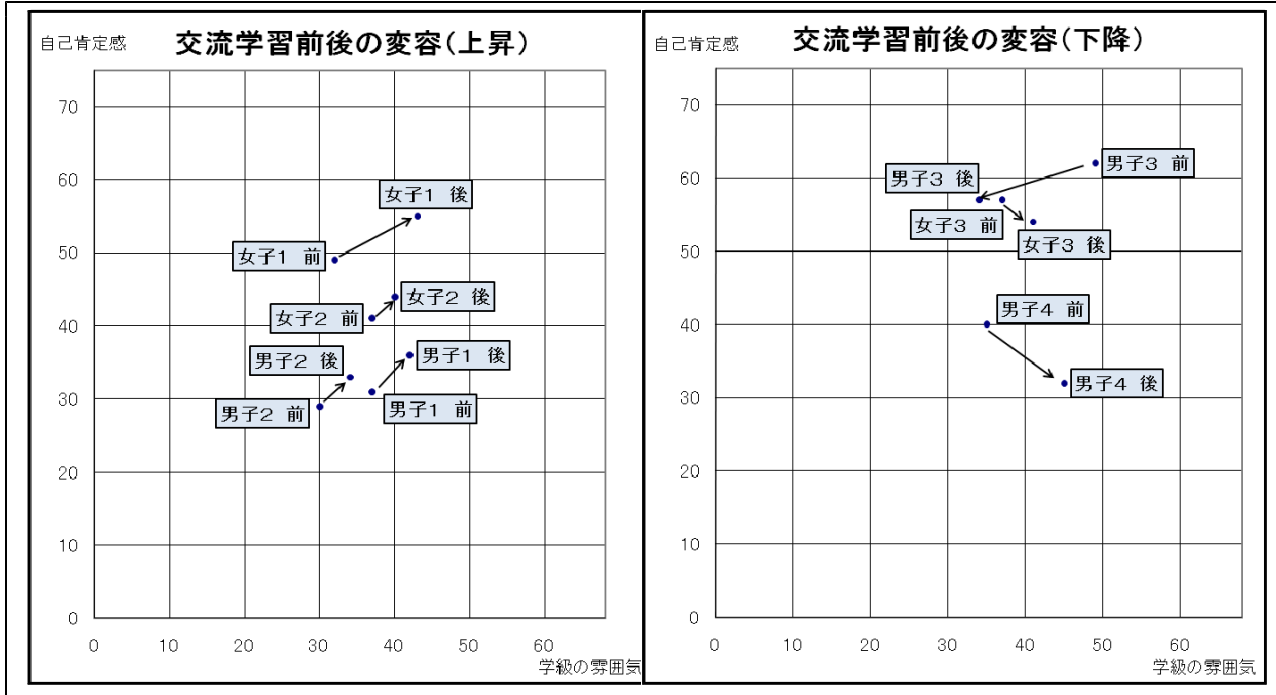


図3 交流学习を通しての個の変容

次に図3で抽出された生徒の個々の事前・事後アンケート結果と感想を示した。ここでは特に自己肯定感が低くなった生徒について、アンケート及び感想等から分析・考察を行った。

(1) 交流学习を通して自己肯定感が高くなった生徒(4人)

抽出生徒-男子1

○事前アンケートから

- 「交流学习を楽しみにしていますか」・・・あまり思わない
- 「様々な人との交流(ふれ合い)を期待していますか」・・・あまり思わない

○事後アンケートから

- 「交流学习は楽しかったですか」・・・とても思う
- 「充実感・達成感がありましたか」・・・とても思う
- 「積極的に活動ができましたか」・・・思う
- 「自分の身の回りの地域が気になるようになりましたか」・・・思う

○感想から

僕は最初、最悪な気分だった。それはなぜかという、僕は知らない人とふれ合うことがものすごく苦手だからだ。社会福祉施設に着いて、最初はものすごく緊張して、うまくしゃべれなかった。体験もごちなかったけれど、最後の方は少しは緊張もほぐれて、最初よりもうまく手を動かせるようになったのでよかった。施設内が広くて、清掃が大変だったけれど、楽しく作業ができた。色々大変だったけれど、いい体験になった。

抽出生徒-男子2

○事前アンケートから

- 「交流学习を楽しみにしていますか」・・・あまり思わない
- 「様々な人との交流(ふれ合い)を期待していますか」・・・あまり思わない
- 「あいさつや言葉づかいの大切さを期待していますか」・・・あまり思わない

○事後アンケートから

- 「交流学习は楽しかったですか」・・・とても思う
- 「充実感・達成感がありましたか」・・・思う
- 「高齢者とのふれ合いがたくさんできましたか」・・・思う
- 「ボランティアには様々な活動があることが分かりましたか」・・・思う

○感想から

自分は今日の初めての交流学习を行って分かったことがあった。それは、年をとっていても頑張っているということだ。利用者の中には、言葉が出せない人や栄養剤を直接体の中に入れて食事をしている人もいた。このような体験のおかげで、たくさんの知識をもつことができた。

抽出生徒-女子1

○事前アンケートから

- 「交流学习を楽しみにしていますか」・・・あまり思わない
- 「様々な人との交流(ふれ合い)を期待していますか」・・・思う

○事後アンケートから

- 「交流学习は楽しかったですか」・・・とても思う
- 「充実感・達成感がありましたか」・・・とても思う
- 「高齢者とのふれ合いがたくさんできましたか」・・・思う
- 「ボランティアには様々な活動があることが分かりましたか」・・・思う
- 「自分の身の回りの地域が気になるようになりましたか」・・・思う

○感想から

最初は初めてのことで不安に思ったり、緊張したりしたけれど、最後の方は血圧を測ることもできたのでよかったです。今日の体験は、普段の生活ではできないことがたくさんあったので、いい経験になりました。また今回の体験で学んだことは、社会に出て人とふれ合うときに大切だと思うので、忘れないようにしたいです。

抽出生徒-女子2

○事前アンケートから

- 「交流学习を楽しみにしていますか」・・・思う
- 「様々な人との交流(ふれ合い)を期待していますか」・・・あまり思わない
- 「あいさつや言葉づかいの大切さを期待していますか」・・・あまり思わない

○事後アンケートから

- 「交流学习は楽しかったですか」・・・とても思う
- 「充実感・達成感がありましたか」・・・とても思う
- 「高齢者とのふれ合いがたくさんできましたか」・・・とても思う
- 「高齢者の立場や気持ちを考えて行動ができましたか」・・・とても思う
- 「自分にも高齢者の役に立つなど、できることがあると思いましたが」・・・とても思う

○感想から

今回初めての体験をして思ったことは、仕事量が多く大変な仕事であることと、老人の方とのコミュニケーションがとても大切であることです。以前よりも福祉への興味がわいてきました。今回学んだことを今後に生かしていきたいと思えます。

(2) 交流学习を通して自己肯定感が低くなった生徒(3人)

抽出生徒一男子3

○事前アンケートから

- ・「交流学习を楽しみにしていますか」・・・思う
- ・「様々な人との交流（ふれ合い）を期待していますか」・・・思う
- ・「あいさつや言葉づかいの大切さを期待していますか」・・・思う
- ・「仲間と協力して活動することを期待していますか」・・・とても思う

○事後アンケートから

- ・「交流学习は楽しかったですか」・・・とても思う
- ・「充実感・達成感がありましたか」・・・思う
- ・「高齢者とのふれ合いがたくさんできましたか」・・・とても思う
- ・「高齢者の立場や気持ちを考えて行動ができましたか」・・・とても思う
- ・「自分にも高齢者の役に立つなど、
できることがあると思えましたか」・・・思う
- ・「仲間と協力して活動することができましたか」・・・まったく思わない

○感想から

僕は認知症の人のお話をしました。施設を利用する人たちの気持ちを考えて行動することがとても難しかったです。しかし利用者の人たちに「ありがとう」と言われたときは、普段では味わえない喜びを感じることができました。

事前・事後のアンケートの中で注目されるのが、仲間と協力して活動することを期待していたが、実際には事後アンケートからも分かるように、協力して活動することが全くできなかったことが、自己肯定感が低くなってしまった大きな要因であると考えられる。しかしアンケートや感想から見ると、全体的には交流学习に対して肯定的であるといえる。今後の学校生活や交流学习においては、意識的に仲間と協力する場面を設定し、協調性を意識させるような手だてを講じることが重要であると考えられる。

抽出生徒一男子4

○事前アンケートから

- ・「交流学习を楽しみにしていますか」・・・あまり思わない
- ・「様々な人との交流（ふれ合い）を期待していますか」・・・あまり思わない
- ・「あいさつや言葉づかいの大切さを期待していますか」・・・あまり思わない

○事後アンケートから

- ・「交流学习は楽しかったですか」・・・あまり思わない
- ・「充実感・達成感がありましたか」・・・あまり思わない
- ・「高齢者とのふれ合いがたくさんできましたか」・・・あまり思わない
- ・「仲間と協力して活動することができましたか」・・・思う

○感想から

僕が体験した場所には、たくさん的高齢者の人たちがいました。僕はどのように高齢者の人たちと接すればいいのかわかりませんでした。そのため大きな声が出せなかったので、注意されてしまいました。いい体験をしました。

事前アンケートからも分かるように、様々な人との交流（ふれ合い）やコミュニケーションが苦手なために交流学习に前向きではない。また交流学习でも、人とのかかわりが苦手なために、注意されたことが事後のアンケートからも分かる。まずは学級内や異学年などの身近な人とのかかわり合いを多くもたせ、人とのかかわりに慣れさせることが必要であると考えられる。

抽出生徒一女子3

○事前アンケートから

- ・「交流学习を楽しみにしていますか」・・・とても思う
- ・「様々な人との交流（ふれ合い）を期待していますか」・・・とても思う
- ・「あいさつや言葉づかいの大切さを期待していますか」・・・とても思う

○事後アンケートから

- ・「交流学习は楽しかったですか」・・・とても思う
- ・「充実感・達成感がありましたか」・・・とても思う
- ・「高齢者とのふれ合いがたくさんできましたか」・・・とても思う
- ・「高齢者の立場や気持ちを考えて行動ができましたか」・・・思う
- ・「自分の身の回りの地域が気になるようになりましたか」・・・思う

○感想から

福祉体験では、常に施設利用者の方に気を配らなければいけないので大変でした。目の見えないお年寄りにはどうやって接したらいいのかも少しは学ぶことができてよかったです。このような機会があったら、自分にはできることは何でもやろうと思いました。

以前から自己肯定感が高く、交流学习についても事前アンケート項目すべてに対して、「とても期待している」と回答しているが、自己評価は大変厳しい生徒である。そのような実態を踏まえると、高齢者との接し方を理解することについて、充実感・達成感が低かったのではなかとと思われる。関心、意欲が高いため、事前に目的意識ををしっかりもたせることにより、高いレベルで充実感・達成感を感じさせることができると考える。